

Acinetobacter 属や *Pseudomonas* 属におけるカルバペネマーゼ産生の検出

0.5M トリス塩酸緩衝液(pH7.6)



商品概要

従来の CIM や mCIM (modified CIM) では、*Acinetobacter* 属や *Pseudomonas* 属の一部の菌株において感度が低いとする報告がされています。

本製品は、カルバペネマーゼを効率よく抽出するための 0.5 M トリス塩酸緩衝液(pH 7.6)です。

CIMTris法 (Carbapenem Inactivation Method – Tris version) において、菌体からカルバペネマーゼを効果的に抽出する溶液として使用されます。

CIMTris は mCIM と比較して、特に OXA 型(*Acinetobacter* 属)および GES 型(*Pseudomonas* 属)カルバペネマーゼの検出に優れると報告されています。

使用方法

- 1 コロニーを10 μ Lループで採取し、本製品（0.5 M トリス塩酸緩衝液(pH 7.6) 400 μ L）に懸濁し、10～15 秒ボルテックスする。
- 2 MEPMディスク（10 μ g）を前項で作製した懸濁液に添加する。
- 3 35℃で 2 時間インキュベーションする。
注意：CIMTris 法では2時間の抽出が最適条件であり、これを超える長時間のインキュベーションは偽陽性を増やすため推奨されません。
- 4 *E. coli* ATCC25922の McF0.5菌液をMH培地に塗布し、インキュベートしたMEPMディスクを設置する。
- 5 35℃ 18～24時間培養後、判定する。

判定	阻止円の径	特徴
陽性	・ 6～15 mm ・ 16～18 mm + サテライトコロニーあり	カルバペネマーゼ活性あり
陰性	・ ≥ 19 mm	カルバペネマーゼ活性なし
判定保留	・ 16～18 mm（サテライトコロニーなし）	再検査推奨

参考文献

Uechi K., et al. :A modified carbapenem inactivation method, CIMTris, for carbapenemase production in *Acinetobacter* and *Pseudomonas* species. *J Clin Microbiol.* 2017;55(12):3405–3410.

品番	容量	価格(税抜)
SG-TRIS-5	5本 (1本：400 μ L)	2,400-
SG-TRIS-10	10本 (1本：400 μ L)	2,900-

保存

冷蔵（2～8℃）保存

〈製造・販売〉
株式会社スギヤマゲン
〒113-0033 東京都文京区本郷2-34-9
TEL：03-3814-0285 FAX：03-3815-3045